

(社会貢献探究班の6月の活動)

機械科の社会貢献班では地域の問題解決に取り組むことを考えました。



工業で学んだことを地域社会に役立てるために何をすればよいか話し合いました。

調べていくうちに、宍道湖において繁茂している水草等の呼吸や分解及び大量に繁茂することによる湖流の滞留により溶存酸素の低下等湖内環境が悪化し、シジミ等水生生物への悪影響が懸念されていることを知りました。

島根の名産でもあるシジミを守り、水草の腐敗による環境悪化に対して取り組むことにしました。

島根県環境生活部環境政策課より宍道湖の現状について詳しく説明していただきました。(6月7日)



〈 シオグサ 〉と〈 ツツイトモ 〉のサンプル



サンプルをいただきましたが実際には混在した状態で刈り取られているようです。

1週間も経つと腐敗して異臭が漂います。

令和2年、強風などで打ち寄せられた水草の回収量 130t (すでに腐敗しており環境問題！)
漁業者による刈り取りは12.4t



回収してから腐敗する前までの速やかな乾燥が求められています。(再利用などで活用方法が広がる)

できるだけ少ないエネルギー、スペースで効率よく乾燥させることができるか探究します。
どのようなアイデアで乾燥させることができるか、挑戦していきます。